

明證 長村町市

實罰 本人破産ノ宣告ヲ受ケタルコトノ有無

右ノ通相違無キコトヲ證ス

年 月 日

何市町村長 氏

名職印

歴		歴	
他	其	航	歴
何年何月何日ニ依リ退職又ハ何隊ニ在營若ハ退營	何年何月何日ニ奉職又ハ何隊ニ在營又トシテ入營	何年何月何日何處ニ於テ飛行機操縦術研究	何年何月何高等學校入學 何年何月同校卒業 右學校卒業ノ際ノ教練檢定ニ合格 何年何月何大學何學部入學 何年何月同學部在學

附錄第四樣式乃至附錄第八樣式 削除 附錄第五樣式乃至第八樣式 削除

附錄第十樣式區分中

飛行兵	操機其	艇機他
-----	-----	-----

飛行兵	操技戰通其	艇術技信他
-----	-------	-------

附則

第百八十四條之三乃至第百八十四條六及

本令公布之日より之ヲ施行ス但シ第二百八條ノ改正規定ハ昭和十一年十二月一日、第八十八條第六項、第九十條第二項、第九十二條第三項、第九十五條、第九十五條ノ二、第九十七條第二項、第九十八條第二項、第百二條第一項、第百四條^條、第百八條、第百九條、第百八十五條ノ二、改正規定ハ昭和十一年一月二十日ヨリ之ヲ施行ス第百四十一條、三ノ改正規定中態谷陸軍飛行學

校操縦生徒トアルハ昭和十年十月三十日ニ至ル迄ハ之
 ヲ所澤陸軍飛行學校操縦生徒トシテ第四百四十二
 條ノ改正規定中無ク陸軍飛行學校トアルハ昭和十
 年十月三十日ニ至ル迄ハ之ヲ所澤陸軍飛行學校
 トス
 二期ニ分テ入學セシムベキ部隊ニ屬スル者ニテ後期ニ
 入學シタル者ノ第三百三十六條第一項ノ取扱ハ仍舊
 前ノ例ニ依ル

陸軍第七旅長司令部

陸	陸	陸	陸
軍	軍	軍	軍
第	第	第	第
七	七	七	七
旅	旅	旅	旅
長	長	長	長
司	司	司	司
部	部	部	部
命	命	命	命
令	令	令	令

陸軍第七旅長司令部

陸軍第七旅長司令部

式第一八二號其二

教庶第一九三七號

陸軍補充令施行規則中改正件同答

昭和拾年九月廿參日

教育總監渡邊錠太郎

陸軍大臣 川島義之殿

陸普第五二六二號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件當方
異存無之



軍

式一八二

式第一八二號其



陸軍

參謀本部 庶日第一 號七

陸軍補充令施行規則中改正ノ件回答

昭和十年九月十九日

參謀總長 載 仁 親

陸軍大臣 川 島 義 之 殿



首題ノ件ニ關シ九月十八日陸普第五二六二號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ

六二

牛島

決行指定

局長

決裁指定

十年

保存期限

房官臣大	課局務主
了結	領受
昭 和 十 年 十 月 廿 五 日	昭 和 十 年 十 月 十 四 日

大臣

件番受
名領

陸軍士官學校豫科生徒ヲ志願シ在營中
受檢スル者ノ受檢ニ関スル件

三二二二號

起元廳(課)名

徵募

課永久甲

政務次官 參與官 回付 決裁前後 連帶 軍事 兵務 主計

決行(決裁)後 回覽課名

(裁決)行決	帶連
覽回後	
局長	局長
長課	長課

局長

次官

政務次官

主務課長

高級副官

參與官

長課

長課

主務課員

主務副官 官房御用掛

書記官

陸軍省 10.10.11 388 軍事課

陸軍省 10.10.11 陸軍省

陸軍省 10.10.11 陸軍省

陸

軍

副官ヨリ教育總監部庶務課長宛照會案

陸普

首題ノ件ニ關シ別紙、通牒致
度ニ付御意見至急承リ度

(別紙ハ各師團等へ通牒全文トス)

高普第五八七二號

陸普第五八七二號

昭和十年十月十四日

副官ヨリ各軍、師團參謀長(派遣師團ハ
留守部經由)、航空本部長、教育総
監部庶務課長宛通牒案

陸普

陸軍士官學校豫科生徒ヲ志願シ



在營中受檢スル者ニシテ當該檢
査期日中若ハ其ノ前後ニ於テ學
校其ノ他ニ分遣セシメラルヘキ者
又ハ分遣中ノ學校其ノ他ヨリ歸隊
セシメラルヘキ者ノ受檢ニ付テハ
陸軍教導學校ニ在枝シ又ハ同校
ニ入校スヘキ下士官候補者ニ關シ
昭和四年陸普第三三四七號ヲ以テ
示達セラレタルモ其ノ他ノ者ニ關シ
テモ總ヘテ同陸普ヲ準用スルコト
ニ定メラレタルニ付承知相成度

一、受驗者之陸軍教導學校卒業之者、受
 驗後歸隊之者、入校之者、陸軍補充令施行規
 則第百三十七條ノ規定ニ依リ令達ニ入校期日ニ
 首不拘受驗期日前當該教導學校ニ著校之
 三、陸軍諸學校生徒採用規則第五條第四項ニ依リ
 檢査開始日時及場所ハ當該教導學校長ヲ經テ
 本人ニ通達スル
 陸軍教導學校所在地ノ檢査場所管ノ師團長ハ各年
 十月十三日陸軍第五二四二號達別紙ハ區分ニ從ヒ第一二
 號ニ依リ下士候補者著校期日ヲ顧慮シ其ハ檢査期日及
 場所ヲ速ニ開陳師團長ニ通報ス(十二日)

陸軍

結了月二

結了月二

結了月二

徵募

至急部 二二三三其

教庶第二一四七號

陸軍士官學校豫科生徒ヲ志願シ在營中受験スル者ノ受験ニ關スル件回答

昭和十年十月十六日 教育總監部庶務課長 富永信政

陸軍省副官 牛島 滿 殿

十月十四日附陸普第五八七二號照會首願ノ件異存ナシ



陸



手 2122

第七二第

閱

決行指定

次官委任

決裁指定

十年

保存期限

大臣 房官 大臣 受領 了結	昭 和 年 十 月 廿 九 日	昭 和 年 十 月 廿 九 日	昭 和 年 十 月 廿 九 日	昭 和 年 十 月 廿 九 日	昭 和 年 十 月 廿 九 日
----------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

(裁決)行決
覽回後

局長	局長	局長	局長	局長	局長
----	----	----	----	----	----

局長	局長	局長	局長	局長	局長
----	----	----	----	----	----

大臣
委

主務局長
次官

政務次官

高級副官

參與官

主務課長

書記官

主務副官
官房御用掛
主務課員

審案
筆記者

件名
陸軍經理學校專攻學生及甲種學生採用件

番號
武第二七又

起元應(課)名

經理局

政務次官
參與官
回付
決裁前後連帶
課名
軍事
補任

決行(決裁)後
回覽課名

永久甲
陸軍省
10.10.13
1917
補任

陸軍省
10.10.19
主計課

第一二二

第一二二

第一二二

第一二二

陸軍省

陸普

(申)

大臣ヨリ陸軍一般へ達案

昭和十一年採用スヘキ陸軍經理學校專攻學生及甲種學生ノ人員ハ通シテ約二十一名トス

陸普第六〇五五號

昭和十年十月廿四日

陸軍經理學校專攻學生及甲種學生採用ノ件

ニル又

陸軍省



結了月日

結了月日

結了月日

二八

保存期限 十年 決裁指定 資委任 決行指定

政務大官 回付 決裁前後連帶

參與官 重 補任 徵察

決行(決裁)後 回覽課名

永久甲

陸軍省 10.10.13 198

起元應(課)名

經理局

局

陸軍省 10.10.19 主計課

件名 經理部士官候補者採用人員ノ件

受領 番號

三七八

起元應(課)名

經理局

局

陸軍省 10.10.19 主計課

大臣 參謀總長

政務次官 局長

高級副官

書記官

審案 筆記者

主務局長 局長

主務課長

主務副官 官房御用掛

主務課員

主計課

大官 領受 昭和八年十月七日

局長

課長

課長

課長

陸軍

陸普

大臣ヨリ陸軍一般へ達棧

昭和十一年採用スヘキ經理部士官候補者

ノ人員ハ約十名トス

前項候補者選抜名簿ハ昭和元年陸達第

一號陸軍經理學校學生採用規則様式第

一五準シ調製スヘシ

陸普第六〇五六號 昭和十年十月廿四日

陸軍省 陸軍部 經理部 陸軍經理學校

陸軍省

陸軍部

經理部

陸軍省

陸軍部

陸軍經理學校

名 廳
丁 月 日

名 廳
丁 月 日

名 廳
丁 月 日

第十一師團長指令案

陸普

十一月十一日附入普第 二二八 號
申請之通認可又

陸普第六六五號 昭和十年十二月廿日

陸普第六六五號 昭和十年十二月廿日
第十一師團

結了月日

結了月日

結了月日

陸軍省
陸軍大臣
川島義之殿

陸軍省
陸軍大臣
川島義之殿
第九七九號

第十一師團人
普第二二二八號

平時編制第十六條依儿定員外下士官增置一件由請

昭和拾年十二月廿日
第十一師團長田代皖一郎

陸軍大臣川島義之殿

昭和九年五月二十二日陸密第三八四號追書二依儿首題ノ件左記ノ通認可相成度申請ス

記

所屬部隊
騎一

官
騎兵伍長

定員外下士官
希望
二名

摘
西
本年十一月廿三日特務曹長ニ右選職
是定員外下士官見込

陸軍省
昭和
10.11.13
午前
官臣

陸軍省
10.11.12
軍事課

陸軍省
10.11.12
640J
補任課

陸軍省
10.11.13
86

保存期限

決裁指定

局長

決行指定



政務次官回付 決裁前後連帶繳、兵、主

決行(決裁)後 回覽課名

受領番號

肆第二〇一八號

起元廳(課)名

第四師團

件名

現役下士官増置ニ関スル件

大臣委

政務次官

主務局長

次官

參與官

高級副官

書記官

主務副官
官房御用掛

審案
筆記者

主務局長

主務課長

主務課員

主務局課

受領出提

昭和 年 月 日
昭和 年 月 日

軍事律第四九號

連帶

局長

長課

決行後
覽回

局長

長課

大臣官房

了結

昭和 年 月 日

十月廿八日



軍

第四師團長へ指令案
十一月十九日附人普第三三二號申請、通認
可ス

陸普第六七五五號 昭和十年十二月廿六日



軍事

陸軍省 領 肆 第二〇一八 號

第四師團 人普第三三二號

現役下士官増置ニ關スル件申請

昭和十年十一月十九日

第四師團長

稔彦王

陸軍大臣 川島義之殿

騎兵第四聯隊ニ於テ現役下士官補充上ノ都合ニ依リ本年十二月一日ニ於テ騎兵伍長四名増置致度ニ付認可セラレ度
追テ右増置人員ハ定員ニ闕員ヲ生シタル際ハ逐次之カ補充ニ充ツヘキニ付申添フ

昭和十年十一月二十一日 午前 陸軍省 大臣 印

陸軍省 印

陸軍省 印

軍

副官ヨリ教育總監部庶務課長宛通牒案

陸普

本年十一月陸軍通信學校生徒ノ課
程ヲ卒業スヘキ者ハ左記ノ通各隊
ニ配當方取計ハレ度依命通牒ス
追テ卒業迄ニ減耗ヲ生シタル場合
ニ於テハ電信第一聯隊ノ人員ヲ減
セラレ度申添フ

記

陸普第六二九六號

昭和十年二月四日

電信第一聯隊
電信第二聯隊

十名
四名

葛 務



結了月日

結了月日

結了月日

(右ト同時ニ)

副官ヨリ近衛、第五師團參謀長宛通牒案
陸普

本年十一月陸軍通信學校生徒ノ課
程ヲ卒業スヘキ者十名(四名)ヲ電
信第一(第二)聯隊ニ配當セララルル等
ニ付、承知相成度

追テ卒業迄ニ減耗ヲ生シタル場合
ニ於テハ若干名ヲ減スルコトアル

ハキニ付申添フ
(注意) 第五師團陸普第六二九六號 昭和十年七月四日

式 第三三八二號 第一

教庶第二二九四號第二

陸軍通信學校生徒ノ課程ヲ卒業スヘキ者ノ各隊
配當ニ關スル件通牒

昭和十年十一月廿一日 教育總監部庶務課長 富永信

陸軍省副官 牛島 滿 殿

十一月四日附陸普第六二九六號通牒ニ依ル首題ノ件別紙ノ通配當セラ
レタルニ付依命通牒ス



陸軍



卒業生徒配當名簿

陸軍

配當部隊

電信第一聯隊

電信第二聯隊

本籍地	氏名
熊本縣	大塚 一之
石川縣	本川 榮吉
石川縣	村本 輔夫
三重縣	中村 三四郎
熊本縣	野口 實郎
德島縣	神田 重義
鹿兒島縣	駒走 直夫
熊本縣	宮川 清
山形縣	大沼 六郎
福岡縣	濱田 伍郎
鹿兒島縣	竹之内 龍彦
香川縣	平岡 澄

第 一 二 二

第 一 二 二

第 一 二 二

軍部 第一師團

大分縣 廣川 武男

兵庫縣 太田垣 五郎

山形縣 大崎 六郎

青森縣 宮内 新

岩手縣 遠志 南次

秋田縣 雄物 重次

山形縣 柳田 重次

山形縣 柳田 重次

山形縣 柳田 重次

山形縣 柳田 重次

山形縣 柳田 重次

山形縣 柳田 重次

卒業生持出者各氏

陸軍

結了月日

結了月日

結了月日

保存期限

永久

決裁指定

高橋

決行指定

中島

政務次官
參與官
回付

決裁前連帶
後課名

決行(決裁)後
回覽課名

永久甲

受領
番號

二回七回

起元廳(課)名

人事局補任課

件名

新任砲工兵工長配當ノ件

大臣

局長
主務

次官

高級
副官

主務副官
主務課員

書記官

審案
筆記者

主務局課

受領
昭和 年 月 日
提出
昭和 年 月 日
了結
昭和 年 月 日

連帶

局長

長課

大官房

了結
昭和 年 月 日

決行(決裁)後
回覽

局長

長課

人達第一九

西村

後

課

小南

用

用

用

審案
筆記者

長

課

陸軍技術本部長へ連絡

本年度陸軍工科學校卒業生徒任官、上ノ別表、通
配當スヘシ

陸普第六八〇七號

昭和十年二月廿八日

副官ヨリ各師團、台灣、關東軍參謀長へ通牒

本年度陸軍工科學校卒業生徒任官、上ノ別表、通配當
セラルヘキニ付承知相成度

陸普第六八〇七號

昭和十年二月廿八日

第三、第九、第十、十六師團ハ留守經由トシ正副各ニ通
又技術本部へハ別表ニ通テ送付スルモノトス



昭和十年年度新任砲工兵工長配當表

計	關東	台灣	20	19	16	14	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	近	所管 工種別	
一 二	砲十一		馬山重一		野砲二番一		野砲六	山砲十一		山砲九(機)一					野砲四一	野砲三 高射一		野砲一	高射二番 一	火工長	
一 六	騎十三 騎九 騎四 騎一		騎二八		騎十不 騎十中	野砲二〇 騎十四	野砲五 山砲三			騎九一	騎八一			騎五		野砲三(機) 一		野砲一		鞍工長	
二 三	砲三六 騎十四 騎十四	台步一 台步一	步七 步七	步七三	步九留		騎十八		步三九	步五	步二七 步二六	步三	步四二	騎四			步四	步四九 騎車二	步三 步二	銃工長	
二 五	高射三六 騎一 騎一	馬公重 馬公重	步七三 步七六		騎十不	獨出砲三 騎重	山砲十一		騎十	工九	野砲八	野砲七 騎六	騎五	野砲四	野砲四	高射一 上三(機)	山砲一	騎車二 騎重	野砲八 野砲八	氣球 野砲八	鍛工長
八	騎一 騎一					下関重	山砲十一					騎七						野砲七 野砲一	野砲七 野砲一	鐵一	木工長
一 一	騎一 騎一					戰車一				工九			工六			高射一 騎三		工一	工一	近砲一	機工長
一 八	高射三六 騎十 騎十	馬公重	馬山重	工十九		工十四 騎重	工十八 騎重		工十					野砲五	深重		野砲二 山砲一		近工		電工長
一 一 三	二 一	五	五	四	五	三	一	三	三	五	三	四	四	四	四	七	四	九	九		計

保存期限

永久

決裁指定

局長

決行指定

牛島

第三三三號

政務次官回付

決裁前後連帶課名

軍事事務局

防備課

防備課

軍事課

軍事課

軍事課

33

陸軍省 10.12.44

陸軍省 10.12.19 補任課

陸軍省 10.12.18 防備課

陸軍省 10.12.17 軍事課

陸軍省 10.12.18 軍事課

受領番號

參第一〇九三號

起元應(課)名

航空本部

件名

航空兵科豫備役下士官補充関係件

永久

大臣

委

政務次官

次官

參與官

高級副官

書記官

主務副官
官房御用掛
主計

審案
筆記者

主務局長

主務課長

主務課員

主務局長

昭和三十年十月十日

連帶

局長

課長

大官

昭和三十年十月十日

決行後
決回

局長

課長

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

軍事事務局
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

航空本部
航空兵科豫備役下士官補充関係件

陸軍航空本部長一指令案

陸普

十二月三日附航教第九四四號
申請ノ通認可又

陸普第七三五八號 昭和拾年十二月廿三日

姓名	德科武尊	職	陸軍航空本部
階級	一等飛行士	部	陸軍航空本部
備考	陸軍航空本部	備考	



止

補任

徵募

陸軍省令第一〇九三號

航教第九〇四號

航空兵科豫備役下士官補充ニ關スル件申請

昭和十年十二月三日 陸軍航空本部長 畑 俊

陸軍大臣 川 島 義 之 殿

左記人名ノ者ハ大正八年勅令第一百五十三號及大正十二年陸普第一
三六二號ニ依リ所澤陸軍飛行學校ニ於テ所定ノ學術ヲ修得シ陸軍
補充令第八十三條但書該當者ニ付同令施行規則第一百八十四條ノ六
ニ依リ豫備役下士官トシテ補充致度申請ス

左記

- 二等飛行士
- 篠原 幹雄
- 小谷 八郎
- 右門 泰雄
- 前地 文
- 高地 文



陸



甲輯第二類目次

召集 召集

編次
番

件

名

形式

主務年

受

番號

一 陸地測量部修技所生徒募集人員ニ関スル件

集

防備

一〇

貳

五八

合

二 衛生部依託學生同生徒召集件

令

衛生

一〇

令

一〇五

合

三 獸醫部依託學生同生徒召集件

令

馬政

一〇

令

一一一

合

四 陸軍工科學校生徒召集告示件

令

徵集

一〇

令

二四四

合

陸

軍

召集

五 陸軍通信學校生徒及所澤陸軍飛行學校
生徒召集告示一件

六 教育召集ニ関スル件

七 陸軍召集規則中改正一件

八 昭和十年度勤務演習、教育、歸休兵及幹部
候補生召集一件

九 陸軍士官學校豫科生徒及陸軍幼年學校
生徒召集告示一件

一〇 見習主計召集告示一件

召集	通	教育	達	召集	召集
徴募	動員	令	令	徴募	徴募
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一〇	肆	貳	全	全	貳
五〇一	五二二	五六九	五四五	一〇四一	五〇一
合	合	合	合	合	合

一 昭和三十二年度戦時召集猶豫者調査ニ関スル件

二 軍醫候補生召集ノ件

三 昭和三十二年度第一補充兵教育召集豫定人員ノ件

四 府縣制第十九條ノ二、市制第二十五條ノ四並
町村制第二十二條ノ四、投票ニ関スル件

五 召集者過早降隊ニ関スル件

六 遠洋漁業船乗組員召集ニ関スル件

通 動員 九 壹 二〇七〇 合

集 衛生 一〇 貳 一五六一 合

通 動員 一〇 全 五八一 合

回 全 一〇 壹 二六一四 合

通 徴募 一〇 貳 二〇〇六 合

全 動員 一〇 壹 二六〇四 合

陸 員

一七 豫後備役將校演習召集之件

一八 陸軍召集規則中改正之件

一九 技術見習士官召集告示之件

二〇 陸軍戸山學校軍樂生徒召集告示之件

軍醫新制士官召集之件

陸軍十軍團演習召集新制士官召集之件

達
動員
一〇
一
一五
合

者令
令
一〇
令
二四
合

召集
徵集
一〇
令
二五
合

令
令
一〇
令
二六
合

軍醫
令
一〇
令
二四
合

陸軍
令
一〇
令
二〇
合

保存期限

決裁指定

決行指定

牛島

次官

政務次官 回付 決裁後前連帶主計課

件番受
號領
貳第
五八
號
陸地測量部修技所生徒募集人員之関スル件

起元廳(課)名

陸地測量部

決行(決裁)後
回覽課名

永久甲

陸軍省
10.1.22
防備課

10.1.22

大臣
委

局長
主務

次官

政務
次官

橋本

局長

參與官

課長
主務

高級
副官

局長

牛島

書記官

主務課員

主務副官
官房御用掛
計掛

今井

小園江

高橋

赤松

審案
筆者

主務局長
號番
房官大臣
了結
領受
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日
房官大臣
了結
領受
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日

房官大臣
了結
領受
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日
昭
和
年
月
日

連帶
局長

局長

長課

長課

局長

陸

軍

告示案

昭和十年陸地測量部修技所生徒八名ヲ募集
集反募集手續ハ大正十三年陸軍省令
第八號陸地測量部修技所生徒募集規
則ニ依ル

陸軍省告示第二號
一月五日官報掲載

官報照合



陸軍省 第五八號

參謀本部 庶人秘第 五號

修技所生徒募集人員ノ件通牒

昭和十年一月十六日

參謀總長 載仁 親

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

昭和十年度陸地測量部修技所生徒募集人員八名ニ付別紙告示案添付通牒ス



軍



保存期限

決裁指定

次官委任

決行指定



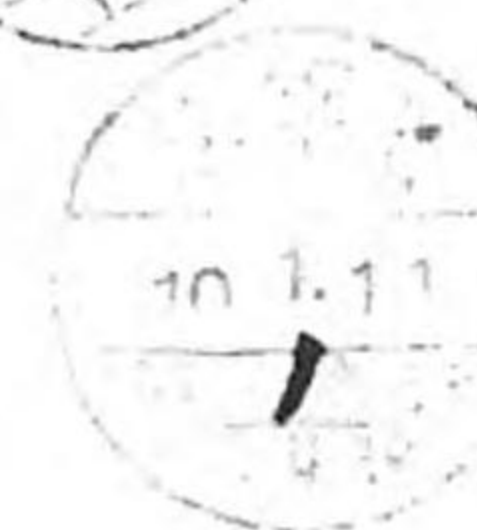
政務次官
參與官
回付

決裁
後前連帶
課名

徵募、主計、補任

決行(決裁)後
回覽課名

永久甲



受一領
番一領
件名
衛生部依託學生同生徒召募ノ件
起元應(課)名
衛生課

大臣
一 軍務
政務次官
高級副官
書記官
審案
主務副官
主務課員
主務課長
局長
局長

主務局長
衛生審第二號
昭和三十二年一月廿四日
昭和三十二年一月五日
昭和三十二年一月廿四日
昭和三十二年一月五日
昭和三十二年一月廿四日
昭和三十二年一月五日

二

陸普

次官ヨリ別紙大學ノ學部長、大學長、

學校長宛 通牒案

昭和十年度陸軍衛生部依託學生同生徒ヲ左記ノ通召募ス依テ志願者

ハ昭和三年陸軍省令第四號陸軍依託學生生徒規則第四條ニ依リ

本年四月三十日迄ニ出願スベキ旨貴校學生生徒ニ對シ告示セラレ度

左

記

陸普第三一〇號 昭和十年一月廿六日

一 軍醫タルベキ者

一、二學年（修業年限五年制度ノ醫學專門
學校ニ在リテハ一、三學年）ヨリ

約八十九名

二 藥劑官タルベキ者

一、二學年ヨリ

約四名



陸

軍

但シ學年ハ本年四月ニ於ケルモノトス

陸軍省告示第 八 号 訓 員

陸軍省告示第 三 号

號

三月一日官報掲載

官報聯合

昭和十年度陸軍衛生部依託學生依託生徒ヲ左ノ通召募ス依テ志願者ハ昭和三年陸軍省令第四號陸軍依託學生依託生徒規則第四條ニ依リ本年四月三十日迄ニ志願票ニ在學スル學校ノ大學長、學部長又ハ學校長ノ證印ヲ受ケ戶籍謄本（志願ノ際交付ヲ受ケタルモノ）ヲ添ヘ之ヲ學校所在地所管ノ師團（軍）軍醫部長（東京帝國大學醫學部、千葉醫科大學、日本醫科大學、日本大學專門部醫學科ニ於ケル志願者ニ在リテハ近衛師團軍醫部長）ニ差出スベシトス

第 一 二 二 號

SSCS

第 一 二 二 號

SECRET

第 一 二 二 號

第 二 卷

第 一 卷

第 二 卷

日 本 大 學 專 門 部 醫 學 科 長

八 田 善 之 進

大 阪 高 等 醫 學 專 門 學 校 長

戶 田 正 三

岩 手 醫 學 專 門 學 校 長

三 田 俊 次 郎

九 州 同

伊 東 祐 彦

昭 和 同

岡 田 和 一 郎

平 壤 同 學 專 門 學 校 長

及 川 邦 治

大 邱 同 學 工 業 學 校 長

山 根 政 太 治

セ プ ラ シ ュ 聯 合 同

ア ッ テ ン ゼ ラ ー 順

富 山 藥 學 專 門 學 校 長

高 橋 隆 造

熊 本 同

村 山 義 温

岐 阜 同

此 良 野 崎 矯

第 二 卷

棟 寮 嗣

池 貞 田 慶 蔵

大 板 嗣

大 槻 善 武

京 都 洞 學 專 門 學 校 長

藤 井 勝 地

明 治 同 業 合 同

高 橋 三 郎

德 島 高 等 工 業 學 校 長

松 本 岩 太 郎

京 城 藥 學 專 門 學 校 長

國 峰 專 吉

田 味 同

岡 田 謙 一 順

大 井 同

尾 東 部 善

岩 手 醫 學 專 門 學 校 長

三 田 善 夫 順

大 連 高 等 醫 學 專 門 學 校 長

三 田 五 三

日 本 大 學 專 門 醫 學 校 長

八 田 善 文 兼

結了月二

結了月二

結了月二

全國醫藥學關係學校一覽表

昭和十年一月十五日調

署稱		校名		所在地	
東大	東京帝國大學醫學部	近	本郷區本富士町	東大	東京同
京大	京都同	16	京都市左京區吉田町	京大	京都同
東北大	東北同	2	仙台市北四番町	東北大	東北同
九大	九州同	12	福岡縣糟屋郡箱崎町	九大	九州同
北大	北海道同	7	札幌市北八條西五丁目	北大	北海道同
京城大	京城同	20	朝鮮京城府	京城大	京城同
阪大	大阪同	4	大阪市北區常安町	阪大	大阪同
新大	新潟醫科大學	2	新潟市旭町通一番町	新大	新潟同
岡大	岡山同	10	岡山市岡	岡大	岡山同
千大	千葉同	近	千葉縣千葉郡都村	千大	千葉同
金大	金澤同	9	金澤市	金大	金澤同
長大	長崎同	12	長崎市里郷	長大	長崎同
熊大	熊本同	6	熊本市本庄町	熊大	熊本同
名大	名古屋同	3	名古屋市中區鶴舞町	名大	名古屋同
京府大	京都府立醫科大學	16	京都市上京區河原町	京府大	京都同
日大	日本醫科大學	近	本郷區駒込千駄木町	日大	日本同
滿才	滿洲同	關	滿洲國奉天	滿才	滿洲同
慈大	東京慈惠會醫科大學	1	芝區愛宕町	慈大	東京同
慶大	慶應義塾大學醫學部	1	四谷區信濃町	慶大	慶應同
京大	京城醫學專門學校	20	朝鮮京城府	京大	京城同
台大	台灣總督府台北醫學專門學校	台	台灣台北市	台大	台灣同
大邱	大邱醫學專門學校	20	朝鮮大邱府	大邱	大邱同
平壤	平壤同	20	朝鮮平壤府	平壤	平壤同
東大	東京同	1	淀橋區東大久保	東大	東京同
日專	日本大學專門部醫學科	近	神田區駿河台	日專	日本同
阪專	大阪高等醫學專門學校	4	大阪市淀川區下新庄町	阪專	大阪同
岩手	岩手醫學專門學校	3	盛岡市仁王第一地割	岩手	岩手同
九州	九州同	3	久留米市小森野町	九州	九州同
昭和	昭和同	2	芝原區中延	昭和	昭和同
ラセ	ラセプランズ同	20	朝鮮京城府	ラセ	京城同
千大	千葉醫科大學附屬藥學專門部	近	千大二同シ	千大	千葉同
金澤	金澤同	9	金大二同シ	金澤	金澤同
長大	長崎同	12	長大二同シ	長大	長崎同
富山	富山藥學專門學校	9	富山縣上新川郡堀川町	富山	富山同
熊本	熊本同	6	熊本市大江町	熊本	熊本同
德島	德島高等工業學校應用化學科製藥化學部	11	德島市常三島町	德島	德島同
岐阜	岐阜藥學專門學校	3	岐阜市假九重町六丁目	岐阜	岐阜同
東大	東京同	1	淀橋區柏木二丁目	東大	東京同
大阪	大阪同	4	大阪府豊能郡櫻井谷村大字北刀根山	大阪	大阪同
京都	京都同	16	京都市東山區山科御陵中内町五	京都	京都同
明治	明治同	1	世田谷區野澤町一丁目	明治	明治同
京城	京城同	20	朝鮮京城府黃金町	京城	京城同

保存期限 十年 決裁指定 決行指定

政務次官 同村 決裁前連帶 課名 (軍軍)

補

主

決行(決裁)後 回覽課名

陸軍省 102.5

受領 番 三 號 件 一名 單官 獸醫部依託學生同生徒召募ノ件 起元應(課)名 大馬 政 課

大臣 秀 次官 政務 次官 高級 副官 主務副官 書記官 審案 筆記者

主務局長 主務課長 主務課員

主務局長 領受 昭和三十二年三月七日 提出 昭和三十二年三月七日

大臣官房 領受 昭和三十二年三月七日 了結 昭和三十二年三月十四日

陸軍省

次官ヨリ別紙大學ノ學部長、學校長へ通牒案

(陸普)

昭和十年獸醫部依託學生同生徒ヲ左記ノ通召募ス依テ昭和三年陸軍省令第四號陸軍依託學生ノ依託生徒規則第四條ニ依リ本年三月十五日迄ニ出願スヘキ旨貴校學生ニ對シ告示相成度候也

左記

陸普第五六一號 昭和十年二月七日

一學年ヨリ 約 十 名

大引

官報照會

陸軍省告示第 號

陸軍省告示第 五 號 二月九日官報掲載

昭和十年獸醫部依託學生同生徒ヲ左ノ通召募ス依テ志願者ハ昭和三年陸軍省令第四號陸軍依託學生ノ依託生徒規則第四條ニ依リ本年三月十五日迄ニ志願票ニ在學スル學校ノ大學長、學部長又ハ學

昭和十年三月

昭和十年三月

昭和十年三月

陸軍

校長ノ證印ヲ受ケ戸籍謄本（志願ノ際交付ヲ受ケタルモノ）ヲ添
へ之ヲ學校所在地所管ノ師團獸醫部長ニ差出スベシ
志願票用紙ハ在學ノ學校ヨリ交付ヲ受クルモノトス

昭和十年二月 日 陸軍大臣 林 銑 十 郎

↑ 一學年ヨリ約 十三 名

一學年ヨリ約

昭和十二年十二月迄ニ對スル獸醫補充計畫

昭和十年二月調

年次	昭和十年	同十一年	同十二年
補充計畫	一、整理及自然減耗見込人員 計 一二	一、整理及自然減耗見込人員 二、缺員 計 一三	一、缺員 一、整理及自然減耗見込人員 計 一五
補充引當人員	一、依託學生、生徒、派遣學生任官見込人員 計 一一	一、依託學生、生徒、派遣學生任官見込人員 計 一〇	一、今回召募セントスル依託學生、生徒、派遣學生任官見込人員 計 一一

陸軍

陸軍

別紙

- | | | |
|---------------|-------|----------|
| 一、東京帝國大學農學部長 | 高橋偵造 | (目黒區駒場) |
| 一、北海道帝國大學農學部長 | 三宅康次 | (札幌市) |
| 一、盛岡高等農林學校長 | 上村勝爾 | (盛岡市) |
| 一、東京高等獸醫學校長 | 武藤喜一郎 | (世田谷區下馬) |

第 四 號

陸軍省

決行指定

次官委任

決裁指定

十年

保存期限

大臣委任
局長 主務
次官
政務 次官

陸軍省 陸軍省 陸軍省
陸軍省 陸軍省 陸軍省
陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍工科學校生徒召募告示ノ件
陸軍省 陸軍省 陸軍省
陸軍省 陸軍省 陸軍省
陸軍省 陸軍省 陸軍省

政務次官 回付
決裁前後 連帶
陸軍省 陸軍省 陸軍省
陸軍省 陸軍省 陸軍省

永久甲 召募ノ

陸軍省 10.1.31 27 軍事課

陸軍省 10.2.1 受10 事務課

陸軍省 10.2.2 12 補任課

局長 主務
局長 主務
局長 主務

局長 主務
局長 主務
局長 主務

局長 主務
局長 主務
局長 主務

局長 主務
局長 主務
局長 主務

陸軍省 10.2.4 課

主計課

陸軍省

陸軍省

陸軍省告示第 八 號

昭和十年十二月陸軍工科學校ニ入校セシムベキ生徒ヲ召募ス其ノ要
項左ノ如シ

昭和十年二月十五日

陸軍大臣 林 銑十郎

一 採用豫定人員 百三十名

二 志願シ得ベキ年齢ノ者

現役兵ヨリノ志願者 昭治四十五年四月二日以後ニ生レタル
者

陸軍部外ヨリノ志願者 大正四年四月二日ヨリ大正七年四月

一日迄ニ生レタル者

三 願書類受附期間 告示ノ日ヨリ昭和十年五月三十一日迄(陸軍

部内ヨリノ志願者ニ在リテハ同年六月十日迄)

四 學科試驗ノ程度 高等小學校卒業程度

五 詳細ハ昭和八年陸軍省令第十五號陸軍諸學校生徒採用規則ヲ參

照スベシ

告示案

陸軍省告示第十六號

陸軍省告示第十六號

三月十日官報掲載

昭和十年十二月陸軍通信學校ニ入校セシムベキ生徒及昭和
十一年二月所澤陸軍飛行學校ニ入校セシムベキ生徒ヲ召募
ス其ノ要項左ノ如シ
詳細ハ昭和八年陸軍省令第十五號陸軍諸學校生徒採用
規則ヲ參照スベシ

昭和十年三月二十日 陸軍大臣 林 銑十郎

官報照合



陸軍省告示第十六號



備考	生徒	飛行學校	所澤陸軍	陸軍通信學校生徒	種別採用人員
陸軍部内ヨリ志願シ得ベキ者ノ年齢及願書類受付 期間ハ本表ニ示サズ	生徒	技術生徒	操縦生徒	約十五名	志願シ得ベキ年齢ノ者
	約百六十名	約百名	約百名	大正六年四月二日ヨリ 大正九年四月一日迄ニ 出生ノ者	願書類受付期間
	大正七年四月二日ヨリ 大正十年四月一日迄ニ 出生ノ者	大正八年四月一日迄ニ 出生ノ者	大正六年四月二日ヨリ 大正八年四月一日迄ニ 出生ノ者	告示ノ日	學科試験ノ程度
	迄	三十一日	ヨリ昭和十年五月	高等小學卒業程度	

保存期限

決裁指定

決行指定

局長委任

出島

第

三

三

政務次官 回付 決裁後 連帶 課名 徵募

決行(決裁)後 回覽課名

受領 番號

肆係五一二號

起元廳(課)名

係十六師團

件名

教育召集ニ関スル件

大臣

政務次官

次官

主務局長

參與官

高級副官

主務課長

書記官

主務副官
官房御用掛
主務課員

主務課員

審案 筆記者

主務局長 受領 提出

昭和 年 月 日

連帶

局長

長課

大官 了結 受領

昭和 年 三月 廿六日

決行(決裁)後 回覽

局長

長課

陸軍

永久甲 台呈

別紙

一六師留召第一九號

教育召集ニ關スル件照會

昭和十年三月十一日

第十六師團留守參謀 中 藺 盛 孝

陸軍省動員課長 田 辺 盛 武 殿

士官候補生トシテ隊附六月ヲ爲シタル後本科ニ入校シタルモ中途退校シタル爲兵役法第六十六條第一項ニ依リ徵兵検査ヲ爲シ處分ノ結果第一補充兵ニ徵集セラレタルモノハ昭和六年六月二十二日陸普第二六九七號同年九月一日陸普第三六四二號及兵役法施行令第三百三十六條等ヲ準用シ教育召集ヲ實施セサルモノト解シテ可然ヤ何分ノ御回示アリ度

追テ右ハ來ル五月十日ヨリ教育召集該當者ナルニ付申添フ

列
故

一六師留召第一九號

教育召集ニ關スル件照會

昭和十年三月十一日

第十六師團留守參謀 中 藺 盛 孝

陸軍省動員課長 田 辺 盛 武 殿

士官候補生トシテ隊附六月ヲ爲シタル後本科ニ入校シタルモ中途退校シタル爲兵役法第六十六條第一項ニ依リ徵兵検査ヲ爲シ處分ノ結果第一補充兵ニ徵集セラレタルモノハ昭和六年六月二十二日陸普第二六九七號同年九月一日陸普第三六四二號及兵役法施行令第三百三十六條等ヲ準用シ教育召集ヲ實施セサルモノト解シテ可然ヤ何分ノ御回示アリ度

追テ右ハ來ル五月十日ヨリ教育召集該當者ナルニ付申添フ

別紙

一六師留召第一九號

教育召集ニ關スル件照會

昭和十年三月十一日

第十六師團留守參謀 中 蘭 盛 孝

陸軍省動員課長 田 辺 盛 武 殿

士官候補生トシテ隊附六月ヲ爲シタル後本科ニ入校シタルモ中途退校シタル爲兵役法第六十六條第一項ニ依リ徵兵検査ヲ爲シ處分ノ結果第一補充兵ニ徵集セラレタルモノハ昭和六年六月二十二日陸普第二六九七號同年九月一日陸普第三六四二號及兵役法施行令第三百三十六條等ヲ準用シ教育召集ヲ實施セサルモノト解シテ可然ヤ何分ノ御回示アリ度

追テ右ハ來ル五月十日ヨリ教育召集該當者ナルニ付申添フ

列紙

一六師留召第一九號

教育召集ニ關スル件照會

昭和十年三月十一日

第十六師團留守參謀 中 藺 盛 孝

陸軍省動員課長 田 辺 盛 武 殿

士官候補生トシテ隊附六月ヲ爲シタル後本科ニ入校シタルモ中途退校シタル爲兵役法第六十六條第一項ニ依リ徵兵検査ヲ爲シ處分ノ結果第一補充兵ニ徵集セラレタルモノハ昭和六年六月二十二日陸普第二六九七號同年九月一日陸普第三六四二號及兵役法施行令第三百三十六條等ヲ準用シ教育召集ヲ實施セサルモノト解シテ可然ヤ何分ノ御回示アリ度

追テ右ハ來ル五月十日ヨリ教育召集該當者ナルニ付申添フ

陸普

參謀總長、教育總監へ照會案

陸軍召集規則中別紙ノ通改正致度照會ス

陸普第一六〇八號

昭和十年三月廿七

右異存ナキ回答アリタル後

省令案

陸軍省令第四號

四月

日官報掲載

官報照合

(別紙ノ通)

官報照合

陸普

軍

陸軍召集規則中改正ノ件（決定案）

昭和一〇、三、一二
動員課

陸軍省令第 號

陸軍召集規則中左ノ通改正ス

昭和十年四月一日

陸軍大臣

第百三條第一項但書ヲ左ノ通改ム

如ク

但シ野砲兵第二十六聯隊高射砲隊ニ於テ教育ヲ受ケタル者、陸軍
野戰砲兵學校教導隊高射砲隊ニ分遣セラレタル者及従前ノ電信聯
隊電氣中隊又ハ昭和六年以前ノ徵集兵ニシテ陸軍工兵學校教導隊
電氣中隊ニ於テ教育ヲ受ケタル者ハ高射砲第一聯隊ニ、無線乙中
隊ニ於テ教育ヲ受ケタル者ハ本籍地師管内適宜ノ部隊ニ之ヲ召集
スルモノトス

附 則

本令ハ昭和十年四月

日ヨリ之ヲ施行ス

事

改正理由

軍備改編ノ結果陸軍工兵學校教導隊電氣中隊ハ其ノ任務ヲ變更セラレタルヲ以テ昭和六年以前ノ徵集兵ニシテ該隊ニ於テ教育ヲ受ケタル者ハ高射砲第一聯隊ニ於テ教育スルヲ適當トスルニ由ル

尾中 昭

閱

至急部 第五六九號 目二

教庶第五九〇號



陸軍召集規則中改正ノ件回答

勅員



昭和十年三月廿九日

教育總監 眞崎 甚三郎



陸軍大臣 林 銑十郎殿

三月二十七日附陸普第一六〇八號照會ニ依ル首題ノ件異存ナシ

陸軍

官房札

別紙

一、昭和十年年度勤務演習、教育、歸休兵及幹部候補生召集ハ附表第一ノ範圍内ニ於テ實施スルモノトス

二、關東州及滿洲國（間島ヲ含ム）在留者ニ在リハ昭和十年年度動員計畫上特ニ必要トスル者及幹部候補生召集決當者ニ限り召集スルモノトス

三、本年度ニ限り騎兵第一旅團ニ於テ現役ヲ終リ第十四師管ニ本籍ヲ有スル者ハ之ヲ第十四師團ニ召集スルモノトス

四、本年度ニ限り左記各號ノ勤務演習召集ハ之ヲ實施セス但シ昭和十年年度動員計畫上其ノ他特ニ必要トスル者ハ此ノ限りニ非ス

五、第三、第十六師團ニ召集スヘキ各兵科（第三師團ノ野戰重砲兵、高射砲兵、第十六師團ノ重砲兵及兩師團ノ輜重兵ヲ除ク）後備役ノ者

2 近衛師團、第十四師團ニ召集スヘキ騎兵後備役ノ者

3 飛行兵及氣球兵ノ後備役ノ者

五 第一師團ニ於テハ附表第二ノ如ク砲兵中（少）尉ヲ陸軍野戰砲兵學校及陸軍重砲兵學校ニ、工兵尉官及下士官ヲ陸軍工兵學校教導隊電氣中隊ニ召集スルモノトス

六 第五師團ニ於テハ附表第三ノ如ク中（少）尉ヲ陸軍運輸部ニ召集スルモノトス

七 衛生部士官ハ隊附軍醫ノ徵兵検査時期等ニ於ケル不足ヲ補フ爲同時期ニ之ヲ召集スルコトヲ得

第七、第十、第十四師團ニ在リテハ昭和八年徵集看護兵退營後其ノ缺ヲ補フ爲豫備役看護兵ヲ召集スルコトヲ得

ハ本年度教育召集スヘキ第一補充兵ノ人員ハ附表第四ノ如シ

九本年度秋季演習ノ爲ノ歸休兵召集ニ關シテハ左記各號ニ依ル

一召集日數ハ二十八日トス

二除隊後帝國外ノ地（關東州及南洋廳管下ヲ含ム以下同シ）ニ旅行
又ハ在留スル者及帝國外ノ地ヲ往復スル船舶ノ船員ハ之ヲ召集セ
サルモノトス

第十第一師團長ハ昭和十年度工兵特別演習ノ爲工兵第一大隊ニ於テ機航
要員ノ補備教育ヲ受ケタル昭和七年徵集兵ヲ召集スルモノトス

十一第五、第六、第十二師團長ハ昭和十年度特別大演習密令細則ニ示サ

レタル豫備役ノ者ヲ召集スルモノトス其ノ召集日數ハ歩兵ニ限リ

ハ特ニ二十八日トス

第十師團長
附記ス

去 第十九、第二十師團長ハ昭和十年度師團對抗演習密令細則ニ示サレ
タル歩兵豫、後備役ノ者 第十九師團ニ在リテハ豫、後備役、第二十師團ニ在リテ
者ヲ召集スルコトヲ得 者ハ豫備役ノ者トシ昭和十年度該當者ヲ以テ尙不足スルモ
者ヲ召集スルモノトス其ノ召集日數ハ豫備役ノ者ニ
限り特ニ二十八日トス

品目

品目

品目

附表第一

昭和十年度近衛師團召集諸費配當表

考	備	軍隊需品費	糧	被服	兵馬及修補費	俸給、給料費	衣	賞
	一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ)患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一統經費中ニ顧慮シ 令達セラルル等 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	五、一六六	一、二〇、五六三	二、四、九一一	八、二六	一、一、九、四二〇	一、三、二、三一三 _甲	賞 目 金 額
		▽	▽	▽	▽	▽	▽	
		▽	▽	▽	▽	▽	▽	
		▽	▽	▽	▽	▽	▽	

附表第一

昭和十年年度第一師團召集諸賞配當表

考	備	軍	禮	被	補兵	俸	衣	賞	目	金	額
	<p>一、演習賞、雜給雜賞(水道料、^々)、恙着費、傳染病豫防及消毒諸賞ハ一般經費中ニ額慮シ 今達セラルル者 二、天器賞ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス</p>	隊 需 品 費	裨 給 費	服 費	器 及 修 馬 匹 費	給 給 科 費	費			八、一、三三八 _円	▽ ▽ ▽
			一、二、三、七、六、六	二、五、八、〇、〇	七、九、九	一、三、九、九、六、〇					▽ ▽ ▽
		四、〇、二、五									▽ ▽ ▽

五
六
八
五
六
八
五
六
八

附表第一

昭和十年度第二師團召集諸費配當表

考 備	賞 目	金 額
一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ)患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一救經費中ニ顧慮シ 今違セラル若 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	衣 費	九三、二三二 _円
	俸給、給料費	九七、二三〇
	兵 補 兵 及 厨 馬 修 匹 費 費	六五二
	被 服 費	一八、五七〇
	糧 秣 費	八八、九一六
	軍 隊 需 品 費	四、一三九
		▽

發

附表第一

昭和十年度第三師團召集諸費配當表

考	備	軍隊用品費	糧秣費	被服費	補兵器及馬匹費	俸給、給料費	旅費	賞日	金額
	一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ) 患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一般經費中ニ顧慮シ 今違セラルガ 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	二、七六五	六五、六七四	一三、五七七	三五四	六五、五五〇	四二、八一三	日	金額

正	六	十	八
正	六	十	八
正	六	十	八
正	六	十	八

附表第一

昭和十年度第四師團召集諸費配當表

考	備	軍	糧	被	補兵	俸	衣	賞	賞	賞
		隊	秣	服	器及修馬匹	給給科	賞	目	金	額
		需	賞	賞	賞	賞	賞			
		品								
		賞								
			九四、一四八	一九、一六五	七〇四	一一五、六六〇	五二、八一			
		三、八六四	▽	▽	▽	▽	▽			
			▽	▽	▽	▽	▽			
			▽	▽	▽	▽	▽			

一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ)、患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一般經費中ニ顧慮シ
 令達セラル等
 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス

附表第一

昭和十年度第五師團召集諸費配當表

考	備	軍	糧	被	補兵	俸	旅	費	目	金	額
	一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ)患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一般經費中ニ顧慮シ 令達セラルル者 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	軍隊需品費	秣費	被服費	兵馬及修馬匹費	俸給、給料費	旅費	費	目	金	額
		三、二七〇	七八八三五	一六、六五〇	六四五	八一、〇〇〇	六八、八七四				
		▽	▽	▽	▽	▽	▽				
		▽	▽	▽	▽	▽	▽				
		▽	▽	▽	▽	▽	▽				

昭和十年度第五師團召集諸費配當表

第一二二

第一二二

第一二二

附表第一

昭和十年度第六師團召集諸費配當表

考	備	軍隊需品費	糧秣費	被服費	兵器及馬匹修費	俸給、給料費	衣費	費目	金額
	一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ) 患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一般經費中ニ顧慮シ 令達セラル等 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	三、五一三	九二、五三五	一九、五七九	七六六	九四、五六〇	一一一、六八二	金	額

昭 和 十 年 度 第 六 師 團 召 集 諸 費 配 當 表
 第 一 二 二 號
 第 一 二 二 號
 第 一 二 二 號

〇二一
〇

〇二一
〇

〇二一
〇

附表第一

昭和十年度第八師團召集諸費配當表

考	備	軍	糧	被	補兵	俸	旅	費	費
		隊	秣	服	器及修馬匹費	給給科費	費	目	金
		需	費	費	費	費	費	目	額
		品	費	費	費	費	費	目	額
		費	費	費	費	費	費	目	額
			一〇二、一五六	三二、六〇五	八四九	一〇五、九七〇	一三三、八五四	目	額
			四、一〇九					目	額
			▽	▽	▽	▽	▽	目	額
			▽	▽	▽	▽	▽	目	額
			▽	▽	▽	▽	▽	目	額

一、演習費、給給雜費(水道料ノミ) 患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一般經費中ニ額慮シ
 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス

〇二一
〇

〇二一
〇

〇二一
〇

附表第一

昭和十年度第九師團召集諸費配當表

費目	金額	額
旅費	五、四、五六八	〇
俸給、給料費	七、九、九〇〇	〇
兵器及馬匹修費	六、三、八	〇
被服費	一、六、三、三二	〇
糧秣費	七、七、四、七七	〇
軍隊備品費	三、一、六、九	〇

備考
 一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ)患者費、傳染病預防及消毒諸費ハ一統經費中ニ顧慮シ
 今達セラルル等
 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス

昭和十一年度
備考

昭和十一年度
備考

昭和十一年度
備考

附表第一

昭和十一年度第十二師團召集諸費配當表

備考	軍隊需品費	糧秣費	被服費	兵馬及修馬匹費	俸給、給料費	旅費	賞目	金額
一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ)、恙者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一般經費中ニ額慮シ 今違セラルル等 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	四、六六九	三、三六八	二、四七一	六、一三二	一、五七〇	一、三二七	金	額

附表第一

昭和十年度第廿四師團召集諸費配當表

考 備	軍 隊 備 品 費	糧 秣 費	被 服 費	兵 器 及 馬 匹 修 費	俸 給 給 料 費	旅 費	費 目	金 額
<p>一、演習費、雜給雜費(水道料ノ) 惠若費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一統經費中ニ額慮シ 今違セラル等 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス</p>	二四五六四	一四三八四	一三三三三	五〇五	七六、三三〇	五、五九五七	金 額	

日 月 年
外 額

日 月 年
外 額

日 月 年
外 額

附表第一

昭和十年年度第十九師團召集諸費配當表

賞目	金額	類
旅費	一、六、一、四三	▽
俸給、給料費	六、六、八〇	▽
兵馬及修補費	六〇	▽
被服費	一、四、二、九四	▽
糧秣費	七、七、七六	▽
軍隊用品費	三、三、二〇	▽

備考
 一、演習費、雜給雜費(水道料、之) 忘れ費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一紙經費中ニ顧慮シ
 令達セラル等
 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス

附表第一

昭和十年度第二十師團召集諸費配當表

考 備	軍 隊 需 品 費	糧 秣 費	被 服 費	兵 馬 及 修 補 費	俸 給 給 料 費	旅 費	賞 目	金 額
一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ) 患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一般經費中ニ顧慮シ 令達セラルモ 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	五〇二	一〇、八四七	一、八四一	七六	一七、二〇〇	二二、〇七八	金	額

第 一 部
 第 二 部
 第 三 部
 第 四 部
 第 五 部
 第 六 部
 第 七 部
 第 八 部
 第 九 部
 第 十 部
 第 十 一 部
 第 十 二 部
 第 十 三 部
 第 十 四 部
 第 十 五 部
 第 十 六 部
 第 十 七 部
 第 十 八 部
 第 十 九 部
 第 十 十 部

附表第一

昭和十年度台灣軍 召集諸費配當表

考	備	軍	糧	被	補兵	俸	旅	賞
	一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ) 惠若費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一級經費中ニ顧慮シ 今違セラルル者 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス	軍隊用品費	秣費	衣服費	馬匹費	給給料費	旅費	賞目
		三五七	六六七	一九九	四〇	一〇、六一〇	九、三九九	金額
		▽	▽	▽	▽	▽	▽	
		▽	▽	▽	▽	▽	▽	
		▽	▽	▽	▽	▽	▽	

計 二二二
計 二二二
計 二二二
計 二二二

附表第一

昭和十年度関東軍召集諸費配當表

考	備	軍	糧	被	補兵	俸	衣	賞
		隊	秣	服	器及修馬匹	給給料	賞	目
		品	賞	賞	賞	賞	賞	金
		費	費	費	費	費	費	額
			(八)	(八)	(三)	(七)	(一)	
		(一)	一八	一八	一六	一四	八四	
		〇一	六四	五二	八〇	九一	五二	
		七八	〇七	二〇	〇〇	〇〇	〇〇	
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	

一、演習費、雜給雜費(水道料ノミ) 患者費、傳染病豫防及消毒諸費ハ一救經費中ニ額慮シ
 全達セラルル等
 二、兵器費ハ本表金額ノ外現品ヲ以テ交付ス
 三、本表金額中格別ヲ附シタルハ滿洲事件費全達豫算内支辨トス(キモノヲ示ス)

第 三 部
 第 一 二 二 号
 第 一 二 二 号
 第 一 二 二 号

附表第二

豫備役砲兵工兵尉官及下士官召集人員表

師團級	召集部隊		尉官	下士官	兵
	野砲山砲野戰重砲兵	高射砲兵			
近衛	七	三	二	二	五
第一	六	五	二		
第二	四				
第三	七	八	二		
第四	三	二			
第五	三	三		三	五
第六	三				
第七	三		一		
第八	二			三	五
第九	三			三	五
第十	三				
第十一	三				
第十二	七	二	四		
第十四	三				
第十六	三	二	一		
計	六〇	二五	一〇	八	一五

備考

一、本表ノ人員ハ第一師團ニ於テ陸軍野戰砲兵、同重砲兵學校及同工兵學校教導隊電氣中隊ニ召集スルモノニシテ其ノ人員ハ左ノ要領ニ依リ選定スルモノトス

二、野砲山砲野戰重砲兵及重砲兵ニ在リテ戰時觀測小隊長若ハ觀測、通信掛人、高射砲兵(同兵種ニシテ召集該當ナキトキハ他ノ砲兵ノ者ヲ以テ充ツ)ニ在リテハ高射砲隊要員ノ職務ニ充當セシムヘキ幹部候補生(一年志願兵ヲ含ム)出身ノ豫備役尉官中ノ優秀者

三、工兵ニ在リテハ戰時野戰電氣隊要員ノ職務ニ充當セシムヘキ者(河官ニ在リテ幹部候補生ニシテ召集該當ナキトキハ工兵出身者トス)ニシテ成ル

四、工兵出身者ハ土木ニ關係アル者

五、到著日時ハ陸軍野戰砲兵學校ニ在リテハ十一月一日午前十時、同重砲兵學校ニ在リテハ七月一日午前十時、同工兵學校教導隊電氣中隊ニ在リテハ十月一日午前九時トス

六、召集日數ハ三週間トス

附表第四

昭和十年度第一補充兵教育召集人員表

考 備	合計	第十六	第十四	第十三	第十一	第十	第九	第八	第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	師管兵種	計
																戰車兵	
	一二〇		三〇	三〇						三〇					三〇	戰車兵	
	一二七五	四五	一四五	一〇〇		一〇〇		一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	四〇	一〇〇	一四五	野砲兵	
	六〇〇			四〇	二〇〇		二〇〇			六〇				一〇〇		山砲兵	
	四六〇		五五	五五						七五			一一〇		一六五	野砲兵 重砲兵	
	三〇〇	六〇		六〇						四〇		六〇			八〇	重砲兵	
	一五〇	一〇	一〇	二〇							一〇	一〇	七〇		二〇	高射砲兵	
	四七五	三〇	三四	三〇	三〇		四八	三〇	三〇	四八	三〇	三〇	三〇	三〇	七五	工兵	
	六〇〇	四〇	一四〇				三〇	九〇				五〇	二〇	九〇	一四〇	鐵道兵	
	六二〇	五〇	七五	三五	三五	三五	四五	三〇	三〇	三五	四〇	四〇	四〇	五五	七五	電信兵	
	四、五〇〇	二三五	四八九	三七〇	二六五	一三五	三二三	二五〇	一六〇	三八八	一八〇	二九〇	三一〇	三七五	七三〇	計	

一、第一師管及第十四師管ニ配當セラレタル野砲兵中各四五名、野戰重砲兵中各五五名、工兵中第一師管一〇名、第十四師管二〇名、共ニ近衛師團ニ之ヲ召集スルモノトス

二、第三師管ニ配當セラレタル高射砲兵中二五名、ハ之ヲ照空中队ニ召集スルモノトス

三、工兵中第六第九師管ニ配當セラレタル各一八名及第十四師管ニ配當セラレタル一四名(近衛師團要員)ハ之ヲ陸軍工兵學校教導隊電氣中队ニ召集スルモノトス

保存期限

決裁指定

局長委任

決行指定

牛島

政務次官 回付 決裁前連帶
參與官 回付 決裁後課名

受領番號 貳第五四五號
起元應(課)名 動員課

件名 昭和年度勤務演習教育歸休兵及幹部候補生召集ノ件中改正ノ件

大臣 委

政務次官	參與官	書記官	審案筆記者
次官	高級副官	主務副官	
主務局長	主務課長	主務課員	

主務局長	局長
昭和三拾年參月廿八日	昭和三拾年參月廿八日

大官	受領
昭和三拾年參月廿八日	昭和三拾年參月廿八日

決行後	決行後
局長	局長
課長	課長

陸軍